

屋根用高日射反射率(遮熱)塗料

アレスクール2液Si

系 統 弱溶剤形2液アクリルシリコン樹脂屋根用高日射反射率(遮熱)塗料

適用規格 JIS K 5675 屋根用高日射反射率塗料(2種2級)

ホルムアルデヒド放散等級 ー

特 長

- 1) アクリルシリコン樹脂タイプであり耐候性が優れています。
- 2) 温度上昇の要因である赤外線を効率よく反射します。
- 3) 色彩が鮮やかでツヤのある美しい仕上がりが得られます。

塗装条件

塗装方法	金属系素材 はけ ローラー	金属系素材 エアレス スプレー	窯業系素材 はけ ローラー	窯業系素材 エアレス スプレー	
希 釈 率	5~15%	5~15%	5~15%	5~15%	
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.12	0.16	0.22	0.29	
希 釈 剤	塗料用シンナーA				

 注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。
標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

 平均膜厚(参考値)は標準所要量(kg/m²/回)に対する数値です。
平均膜厚(参考値)はホワイトの場合です。

塗装間隔

項 目		温 度	
		23℃	5℃
標準塗装間隔	最 短	4時間	
	最 長	7日	
使用時 限		8時間	

塗料性状

項 目	内 容
1 荷 姿	15kgセット ベース: 13.5kg 硬化剤: 1.5kg
2 混 合 比	ベース/硬化剤 = 9/1
3 色	標準色
4 つ や	つや有り
5 仕 上 が り 感	平 滑
6 塗 料 比 重	1.16(ホワイト)
7 溶 剤 比 重	0.86
8 加 熱 残 分	61%(ホワイト)
9 劇 物 表 示 (品名・含有量)	ー
10 安 法 上 の 表 示 有 害 物	ベース: キシレン エチルベンゼン 硬化剤: キシレン
11 有 機 則 / 特 化 則	ベース: 第3種有機溶剤等 硬化剤: 第3種有機溶剤等
12 消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	ベース: 第4類 第2石油類(非水溶性) 硬化剤: 第4類 第2石油類(非水溶性)
13 硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	イソシアネート

主な適用素材

 金属系屋根材(カラータタン・金属折板)など
窯業系屋根材(新生瓦・波型スレート) など

主な適用下塗塗料

 アレスクールプライマー、アレスクールメタルプライマー(金属系屋根材)
アレスクールシーラー、ヤネ強化プライマーEPO(窯業系屋根材)

主な適用中塗塗料

主な適用上塗塗料

使用上の注意事項

- 1) 標準色以外はJIS表示できません。
- 2) 標準所要量は一般的な条件での塗装作業に必要な塗料の参考値です。
- 3) 沈降している場合がありますので、使用前に十分攪拌して下さい。
- 4) 下地調整が不十分な場合、塗膜の膨れ・割れ・剥がれの原因となったり、光沢が出ないもしくは艶ムラが発生するなど仕上がりが不良が生じる恐れがあります。
- 5) ホコリ・油・樹脂などは塗装前に溶剤拭き・水洗い(温水)等で十分に除去し、乾燥した清浄な面にして下さい。特にトタンの折り曲げ部はホコリ・砂等が溜まりやすいので入念に清掃して下さい。
- 6) 低温・多湿時に塗装したり、未乾燥状態で夜露等に当たると艶引けが生じることがあります。
- 7) 強風時や降雨が予想される場合、および気温が5℃以下、湿度85%以上の場合の塗装は避けて下さい。
- 8) 他の塗料との混合は絶対に避けて下さい。
- 9) 品質が保持する塗膜性能を十分に発揮させるために、所定の塗り回数と膜厚を確保して施工して下さい。特に上塗り1回塗りでは十分に発色、隠ぺいせず、遮熱性能・塗膜性能が発揮されない場合があります。必ず2回塗りし、標準塗装仕様(アレスクールシリーズ)を守って下さい。
- 10) 窯業系屋根が劣化の激しい場合には、ヤネ強化プライマーEPOをあらかじめ塗布して下さい。
- 11) 本製品に関する使用上の注意事項は、単品の製品説明書(リーフレット)でご確認ください。
- 12) 塗料の取扱いなどの注意事項はSDS(安全データシート)を参照して下さい。

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

※本製品説明書の内容には、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。